漏水音 自動判定ユニット

FSJ-1 判定王

取 扱 説 明 書

管路システムのサポートメーカー
フジテコム

ごあいさつ

このたびは、漏水音 自動判定ユニットFSJ－1判定王をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書は、FSJ－1判定王および専用ソフトウェアFSJ－Winの取り扱いについて記載した説明書です。
本器をご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、取り扱い内容を正しくご理解の上、本器をご使用ください。
また、お読みになった後、本書が必要になった時にすぐに利用できる場所に保管してください。

ご 注 意

- ぬれた手で電池交換や本器の操作をしないでください。(防水構造ではありません。)
- 本器を投げたり、落としたりしないでください。
- 本器を分解しないでください。(故障の原因になります。)
- パネルの液晶表示部を触らないでください。(故障の原因になります。)
- 本器を高温な場所に放置しないでください。(ケースの変形、誤動作の原因になります。)
- 長期間使用しない時は、電池を外してください。(電池の液漏れが故障の原因となります。)

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
「保証書」は弊社にとってお客様に万全のサービスをさせていただくためのものです。
「保証書」にはお客様名、ご住所、ご購入年月日を記載の上、大切に保管してください。
なお、「保証書（控）」を弊社営業員にお渡しくださるか、お手数ですが弊社お買い上げ営業所にお送りください。
保証期間内に機器の機能上に不具合が生じた場合は無償にて修理させていただきます。その場合は、「保証書」の提示が必要となります。
「保証書」を提示していただけない場合は有償となりますので、予めご了承願います。
保証期間外あるいはお客様の原因による破損故障の場合は有償にて修理させていただきます。その他、当機器に関するご質問は弊社までご連絡ください。

目　次 （1）

ハードウェア編

1．概要 …… 8

2．各部の名称 …… 9

3．構成品 …… 10

　3－1　FSJ－1 の構成品 …… 10

　3－2　その他、必要品 …… 10

4．FSJ－1 とFSD－8 Dの接続 …… 11

5．画面の説明 …… 13

　5－1　画面の流れ …… 13

　5－2　各種画面の説明 …… 14

　　5－2－1　初期画面 …… 14

　　5－2－2　時計画面 …… 14

　　5－2－3　通常画面 …… 14

　　5－2－4　記録開始待機時間　経過待ち画面 …… 14

　　5－2－5　データ取得中の画面 …… 15

　　5－2－6　データ収集終了画面 …… 15

　　5－2－7　判定表示 …… 15

　　5－2－8　通信画面 …… 16

　　5－2－9　データフル画面 …… 16

6．電池交換 …… 17

7．使用方法について …… 18

8．パソコンとの接続方法 …… 20

9．製品仕様 …… 21

目　次　（2）

ソフトウェア編

1．はじめに ……24
　1－1　『FSJ－1用Windowsソフト FSJ－Win』とは ……24
　1－2　動作環境(推奨) ……24
　1－3　ご使用の前に ……24

2．FSJ－Winのインストールと起動 ……25
　2－1　FSJ－Winのインストール ……25
　2－2　FSJ－Winの起動 ……28

3．ドライバのインストールとアンインストール ……29
　3－1　ドライバのインストール ……29
　3－2　アンインストール ……34
　3－3　FSJ－1との通信確認 ……39

4．機能 ……40
　4－1　メインメニュー ……40
　4－2　データ読み込み ……41
　　4－2－1　データ読み込み ……41
　　4－2－2　データ編集メニュー ……42
　4－3　機器設定 ……42
　　4－3－1　機器設定 ……42
　　4－3－2　機器編集メニュー ……44
　4－4　ヘルプ ……44
　4－5　バージョン情報 ……45
　4－6　終了 ……45

5．データの初期化 ……46

6．日時設定 ……48

7．設定変更 ……50
　7－1　設定項目 ……50
　7－2　設定変更方法 ……51

8．パソコンへのデータ転送 ……53

9．フジ全国サービスネットワーク ……54

ハードウェア編

1．概要

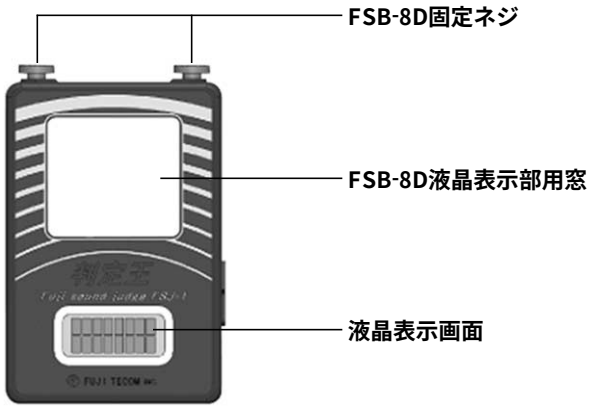
［ハードウェア］

本器(以下、FSJ－1)はFSB－8Dの外部出力端子から出力される値を測定し、レベル判定をします。測定値は機器に保存され、専用ソフト『FSJ－Win』にて読み出すことが可能です。各現場のデータ確認および比較を行うことができます。

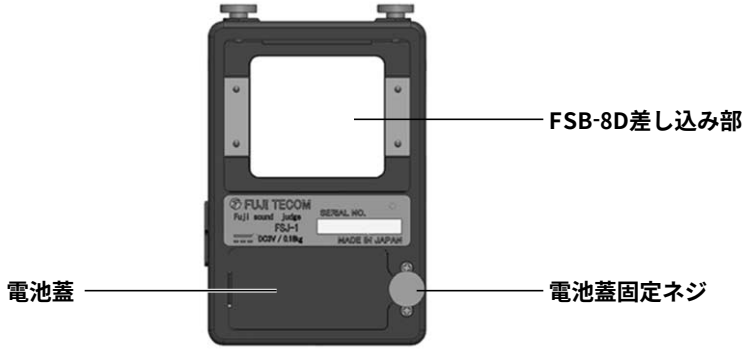
2．各部の名称

［ハードウェア］

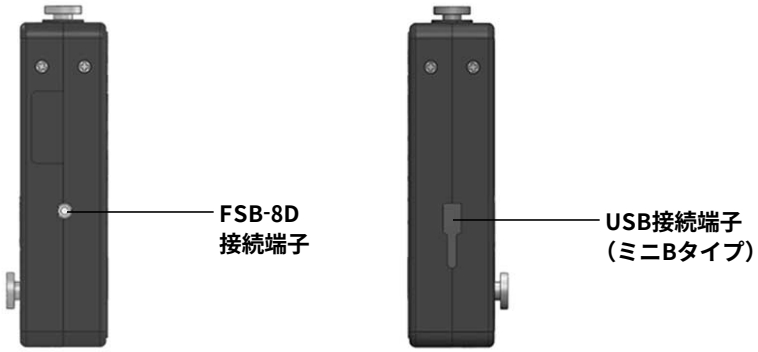
2－1　本体前面



2－2　本体裏面



2－3　本体側面



3．構成品

［ハードウェア］

3－1　構成品

（1）FSJ-1 	（2）信号入力ケーブル （FSB-8Dとの接続用） 	（3）USBケーブル （A・ミニBタイプ） （FSJ-1とパソコンの接続用）
	（4）FSJ-1専用ソフト 	（5）アルカリ単4乾電池 2本

3－2　その他、必要品

（1）FSB-8D

※FSJ－1判定王を使用するには、別途電子音聴器FSB－8Dが必要になります。

4．FSJ－1とFSB－8Dの接続

［ハードウェア］

① FSB－8Dの電池蓋を開けFSB－8Dの“ SENS ”を確認します。

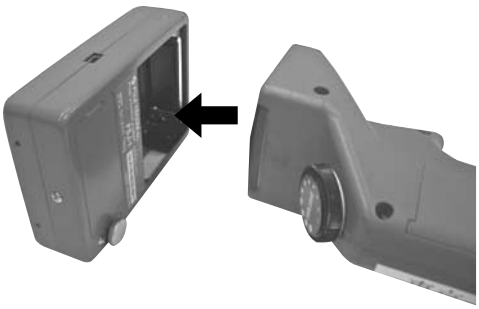
（大）：推奨

（中）：判定は可能です。

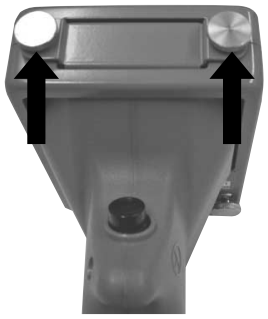
（小）：お勧めできません。
信号入力が不足します。

② FSJ－1下部のネジを緩めてください。

③ FSJ－1の裏面にFSB－8Dをはめ込んでください。

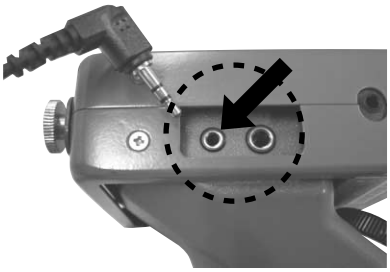


④ ②で緩めたネジを締めてFSB−8DをFSJ−1に、しっかり固定してください。

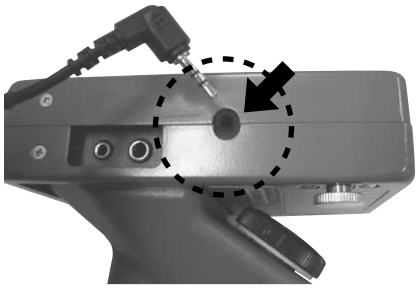


⑤ FSB−8Dとの接続ケーブルをFSB−8Dの接続外部出力端子 ⊖→ マークの付いている、下の小さい方の穴に差し込んでください。

＊注意　差し込みが甘いとFSB−8Dが認識されない場合があります。



⑥ ケーブルの反対側をFSJ−1本体に、強く押し込んでください。

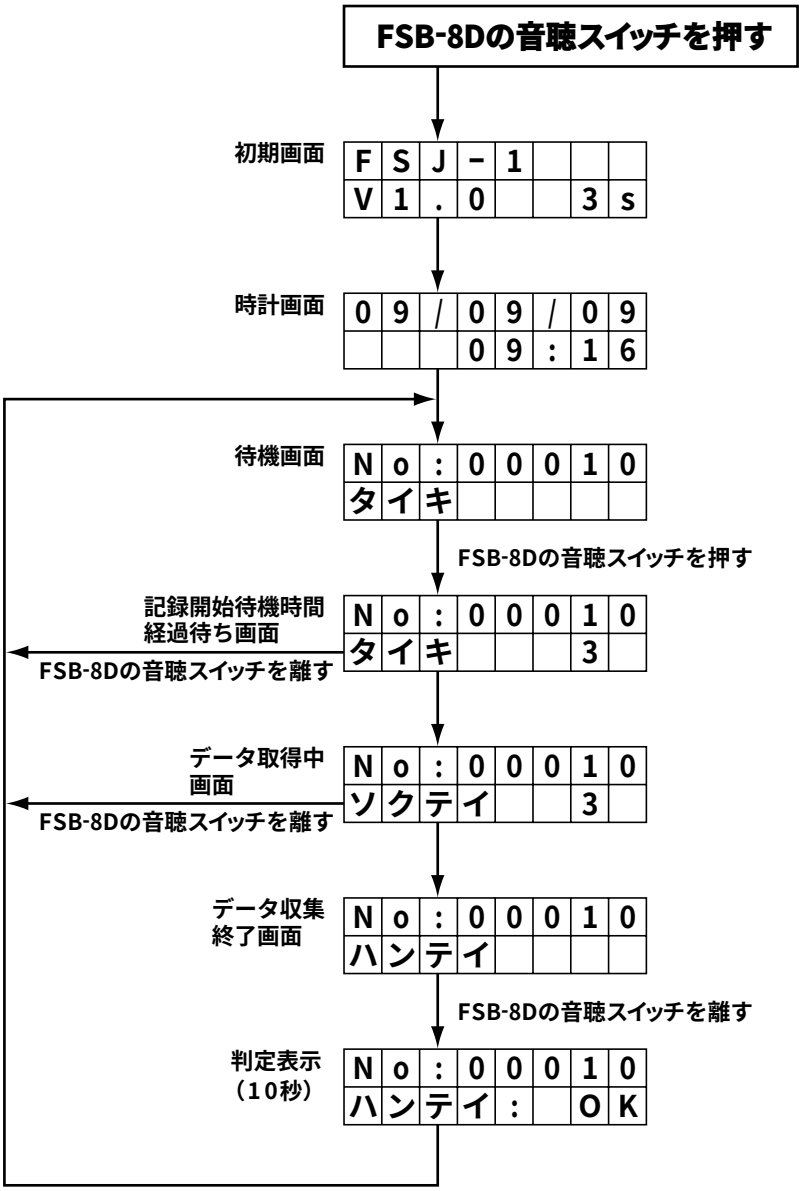


以上で、FSJ−1とFSB−8Dの接続作業は完了です。

５．画面の説明

［ハードウェア］

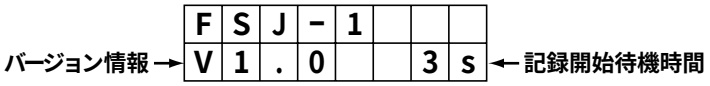
５－１　画面の流れ



5－2　各種画面の説明

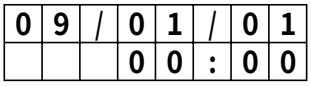
5－2－1　初期画面

FSJ－1に何も表示されていない状態で、FSB－8Dの音聴スイッチを押すと表示される画面です。FSJ－1のバージョンとP51「7－2 設定変更方法」で設定された、記録開始待機時間を表示します。



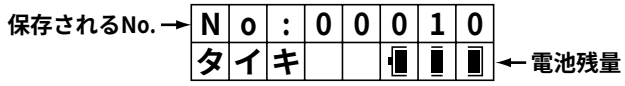
5－2－2　時計画面

初期画面の次に表示される画面です。
FSJ－1の現在日時が表示されます。



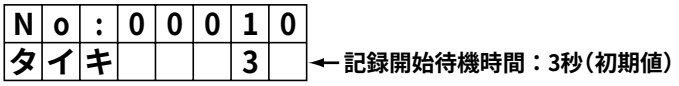
5－2－3　待機画面

FSB－8Dの音聴スイッチが押されるのを待っている画面です。
次のデータ保存に使用されるNo.と電池残量が表示されています。この画面のまま、FSB－8Dの音聴スイッチが５分間押されないと、自動的にFSJ－1の電源をOFFします。



5－2－4　記録開始待機時間　経過待ち画面

待機画面の際にFSB－8Dの音聴スイッチを押すと本画面になります。データ保存に使用するNo.とP51「7－2 設定変更方法」で設定された、記録開始待機時間を秒単位で表示し、カウントダウンを行います。カウントダウン中にFSB－8Dの音聴スイッチを離すと、データの保存は行わずに待機画面に戻ります。



5－2－5　データ取得中の画面

データの取得を行っている画面です。

記録開始待機時間のカウントダウンが終了すると表示されます。データ保存に使用するNo.とP51「7－2 設定変更方法」で設定された、記録時間を秒単位で表示し、カウントダウンを行います。カウントダウン中にFSB－8Dの音聴スイッチを離すと、データの保存を行わずに通常画面に戻ります。

No	:	0	0	0	1	0	
ソク	テイ				3		← 記録時間：3秒（初期値）

5－2－6　データ収集終了画面

記録時間が経過した後に表示される画面です。

データ保存に使用するNo.が表示されています。FSB－8Dの音聴スイッチを離すと判定結果が表示され、データを保存します。

＊注意　下の画面が表示されている間もデータの取得が行われています。FSB－8Dの音聴スイッチを離した後、FSB－8Dを対象物から離してください。

No	:	0	0	0	1	0	
ハンテイ							

5－2－7　判定表示

データ収集終了画面後に、FSB－8Dの音聴スイッチを離すと表示される画面です。

データ保存に使用するNo.と判定結果が10秒間、表示されます。

P51「7－2 設定変更方法」で設定されたしきい値と取得したデータを比較して、しきい値より大きいと、異常音の疑いがありと判断し『💧』が表示されます。小さいと異常音の疑いがないと判断し『OK』が表示されます。

※表示される💧の数については、P50「7－1 設定項目」しきい値を参照ください。

	No	:	0	0	0	1	0	
判定結果 →	ハンテイ					OK		

5－2－8　通信画面

FSJ－1をUSBケーブルでパソコンに接続すると表示される画面です。
パソコンと通信を行うことができます。USBケーブルを抜くとFSJ－1の電源がOFFします。

ツ	ウ	シ	ン				
			→	→	→	P	C

5－2－9　データフル画面

FSJ－1は2,000件のデータを記録することができます。データの保存件数が2,000件に達すると、各画面のNo.の部分が、データフルと表示されます。出荷時はデータ保護のため、上書き防止機能が“ ON ”になっています。詳しくはP50「7－1 設定項目」の上書き防止機能をご参照ください。

テ	゛	ー	タ		フ	ル	
タ	イ	キ					

＊注意　上書きされたデータを復帰することはできません。こまめにデータをパソコンに転送することをお勧め致します。

６．電池交換

［ハードウェア］

①新しいアルカリ単４乾電池を２本用意してください。
②本体裏のツマミを回して、蓋を開け、新しい電池に交換してください。

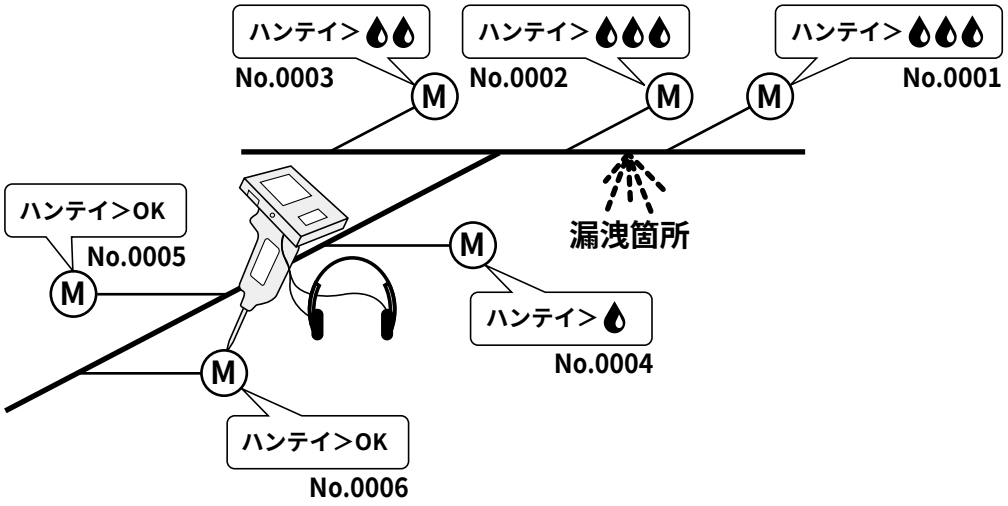
③蓋を閉じ、本体裏のツマミを回して固定してください。

7．使用方法について

［ハードウェア］

①電子音聴器FSB－8Dに判定王FSJ－1をセットし、戸別のメーターや弁栓に感振棒をあてます。
②FSB－8Dの音聴ボタンを押すと、初期画面→時計画面→待機画面が表示されます。
③もう一度FSB－8Dの音聴ボタンを押すと、記録開始待機時間表示（３秒カウントダウン）
→測定画面（３秒カウントダウン）→判定結果表示されます。
④音聴ボタンを離す→データが保存→感振棒をメーターから離す

この動作を繰り返し、データを収集します。



このように漏水が発生している範囲を絞り込むことができます。
図面上にNo.を記入することで「現場」と「データ」の整合性を取ることができます。

ポイント1　しきい値より大きい連続音であれば、判定は“アリ”マークが表示されます。これは調査される現場環境により、「用水路の流水音」「浄化槽のブロワー音」「使用水の流水音」などの擬似的な異常音が当てはまります。これらを音聴により、できるだけ除外していきます。周りの環境を考慮することで、より確度の高い結果を得ることができます。

ポイント2　本器はソフト上で、しきい値を変更することができます。
（P51「7－2 設定変更方法」参照）

例えば目安として

- 判定結果“ アリ ”マークが多く出る。（繁華街や交通量の多いところなど）
  →しきい値を上げることにより調整できます。
- 判定結果“ OK ”が多く出る。（山間部や閑静な住宅街など）
  →しきい値を下げることにより調整できます。

お客様のご使用環境に合わせ、適正なしきい値を設定していただけます。詳しくは最寄りの担当営業所までご連絡ください。

また **ポイント1** にも説明がありますが、現場環境と合わせて変更することで、より確度の高い結果を得ることができます。

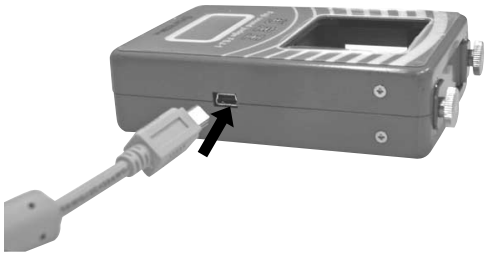
８．パソコンとの接続方法

［ハードウェア］

FSJ－1とパソコンをUSBケーブルで接続します。

① USBケーブルをパソコンに接続してください。

② FSJ－1にUSBケーブルを接続してください。



③FSJ－1が、パソコンとの通信用の表示になるまでお待ちください。(約４秒)

ツ	ウ	シ	ン				
			→	→	→	P	C

以上で、FSJ－1とパソコンとの接続作業は終了になります。

9．製品仕様

［ハードウェア］

- 測定時間　　：３秒
- 保存データ件数　：2,000件
- 異常音の判定結果：LCDに３段階で表示
- 電　源　　：単４型アルカリ乾電池×２本（３V）
- 連続動作時間　　：40時間（20℃：アルカリ乾電池使用時）
- 動作温度範囲　　：-5～+55℃（結露なきこと）
- 寸　法　　：107（H）×72（W）×28（D）mm
- 重　量　　：150ｇ（電池除く）

ソフトウェア編

1．はじめに

1－1 『FSJ－1用Windowsソフト FSJ－Win』とは

FSJ－1用Windowsソフト（以下FSJ－Win）は、判定王（音聴型漏水音自動判定ユニット、以下FSJ－1）の記録データの読み込み、および機器設定の変更を行うことを目的としたソフトウェアです。

1－2 動作環境（推奨）

本体	：Intel Pentium® II以上、または同等以上の処理能力のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
OS	：Microsoft® Windows® XP SP2以降の100%互換性のある上位バージョン（32ビット）
メモリ	：128MB以上
ハードディスク	：インストール時に100MB以上の空き
解像度	：800×600ピクセル以上
その他	：CD－ROMドライブ USBインターフェース（USB1.1以上） 管理者権限のユーザーアカウント Microsoft® Office Excel 2002 以上

1－3 ご使用の前に

機器とパソコンを接続してデータ通信を行うには、FSJ－Winをインストールしたパソコンに専用のドライバが必要になります。
FSJ－Winのインストール後に、ドライバのインストールを行ってください。
（P29「3－1 ドライバのインストール」参照）

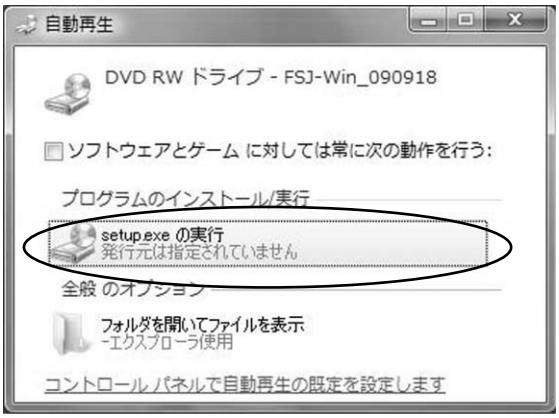
２．ＦＳＪ－Winのインストールと起動

［ソフトウェア］

２－１　ＦＳＪ－Winのインストール

１．FSJ-1付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットして『setup.exe』を実行します。

※Windows XPの場合、自動で『setup.exe』が実行され、インストーラーが起動します。
自動で起動しない場合は、CDドライブの『setup.exe』を実行してください。



２．インストーラー起動画面

［次へ］ボタンをクリックします。

3．インストール先フォルダの設定

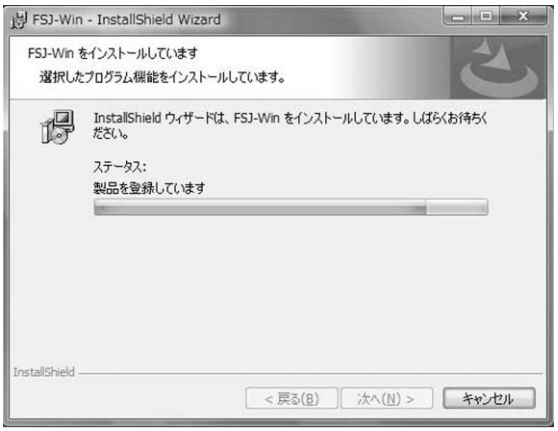
インストール先フォルダは必要に応じて変更し、［次へ］ボタンをクリックします。

4．インストール準備完了画面

［インストール］ボタンをクリックすると、インストールを開始します。

5.インストール実行画面

※Windows Vista、Windows 7 の場合、ユーザーアカウント制御の警告が表示されます。
『許可』をクリックして、インストールを続行してください。



6.インストール完了画面

インストールが完了しました。［完了］ボタンをクリックして、インストーラーを終了します。

2－2　FSJ－Winの起動

1. FSJ-Winの起動

［スタート］→［すべてのプログラム(プログラム)］→［FUJI TECOM］→［FSJwin］、またはデスクトップの［FSJwin］ショートカットをダブルクリックするとFSJ－winが起動します。

３．ドライバのインストールとアンインストール

［ソフトウェア］

３－１　ドライバのインストール

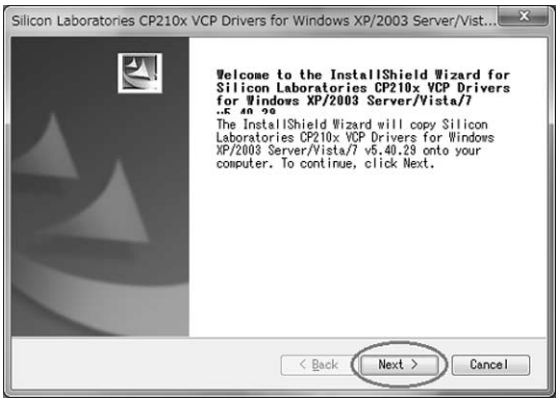
＊確認　すでに『CP210x用ドライバ』がインストールされている場合、インストールの必要はありません。FSJ－1を接続してFSJ－Winと通信を行って、通信が可能かどうかを確認してください。（P39「3－3 FSJ－1の通信確認」参照）

１．FSJ-1付属のCD-ROMをCDドライブにセットして、CD-ROMに収録されている、『CP210x_Driver』フォルダの『CP210ｘ_VCP_Win2K_XP_S2K3_Vista_7.exe』を実行します。

※すでにFSJ－Winがインストールされている場合は、インストールフォルダの『\Fujitecom\FSJwin\CP210x_Driver』フォルダにも実行ファイルがあります。

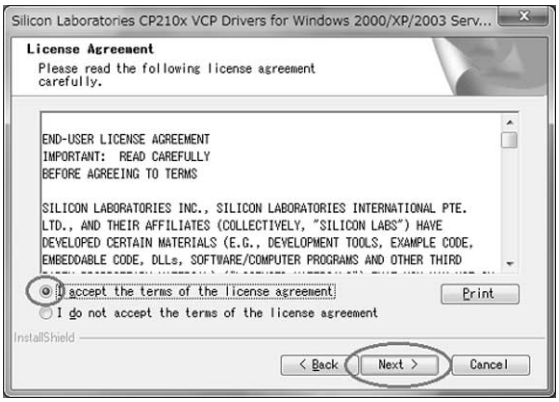
2. インストーラーの起動

CP210x用ドライバのファイルをインストール先にコピーします。
［Next >］ボタンをクリックします。


Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows XP/2003 Server/Vist...
Welcome to the InstallShield Wizard for Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows XP/2003 Server/Vista/7
The InstallShield Wizard will copy Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows XP/2003 Server/Vista/7 v5.40.29 onto your computer. To continue, click Next.
< Back
Next >
Cancel

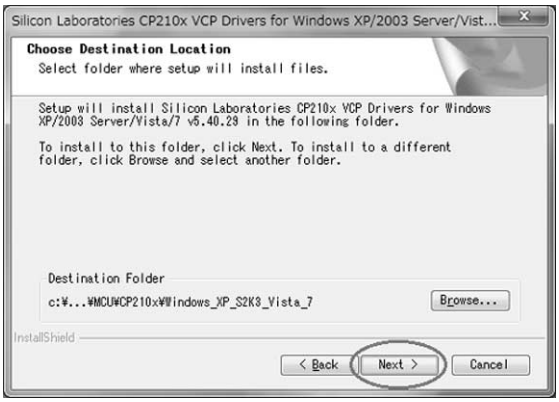
3. ライセンス契約の確認画面

『I accept the terms of the Licence Agreement』を選択して、［Next >］ボタンをクリックします。


Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows 2000/XP/2003 Serv...
License Agreement
Please read the following license agreement carefully.
END-USER LICENSE AGREEMENT
IMPORTANT: READ CAREFULLY
BEFORE AGREEING TO TERMS
SILICON LABORATORIES INC., SILICON LABORATORIES INTERNATIONAL PTE. LTD., AND THEIR AFFILIATES (COLLECTIVELY, "SILICON LABS") HAVE DEVELOPED CERTAIN MATERIALS (E.G., DEVELOPMENT TOOLS, EXAMPLE CODE, EMBEDDABLE CODE, DLLs, SOFTWARE/COMPUTER PROGRAMS AND OTHER THIRD
I accept the terms of the license agreement
I do not accept the terms of the license agreement
Print
InstallShield
< Back
Next >
Cancel

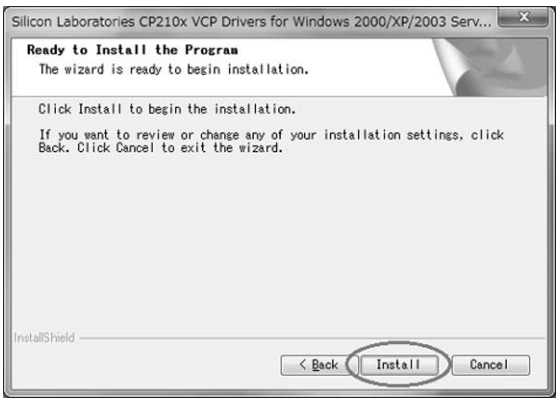
4. インストール先フォルダの設定

インストール先フォルダは必要に応じて変更し、［Next >］ボタンをクリックします。



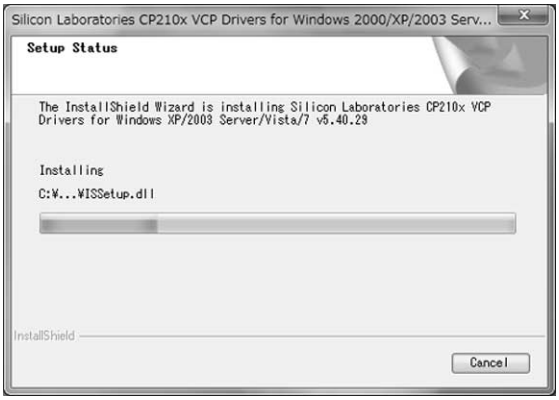
5. インストール準備完了画面

［Install］ボタンをクリックして、ドライバのインストールを開始します。



6. インストール実行画面

※WindowsVista、Windows７の場合、ユーザーアカウント制御の警告が表示されます。
『許可』をクリックして、インストールを続行してください。


Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows 2000/XP/2003 Serv...
Setup Status
The InstallShield Wizard is installing Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows XP/2003 Server/Vista/7 v5.40.29
Installing
C:¥...¥ISSetup.dll
InstallShield
Cancel

7. インストーラーの終了画面

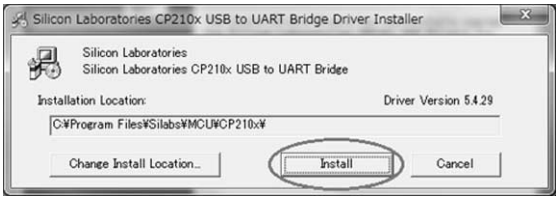
ドライバファイルのインストールを完了しました。
『Launch the CP210x VCP Driver Installer.』にチェックされていることを確認して［Finish］ボタンをクリックします。

Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows XP/2003 Server/Vista/7 - In...
InstallShield Wizard Complete
The InstallShield Wizard has successfully copied the Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows XP/2003 Server/Vista/7 v5.40.29 to your hard drive. The driver installer listed below should be executed in order to install drivers or
Launch the CP210x VCP Driver Installer.
Click Finish to complete the Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows XP/2003 Server/Vista/7 v5.40.29 setup.
< Back
Finish
Cancel

＊注意 『Launch the CP210x VCP Driver Installer』にチェックマークがある場合は、ドライバのインストールが自動的に開始されます。
チェックマークがない場合は、ドライバのインストールが中断されます。

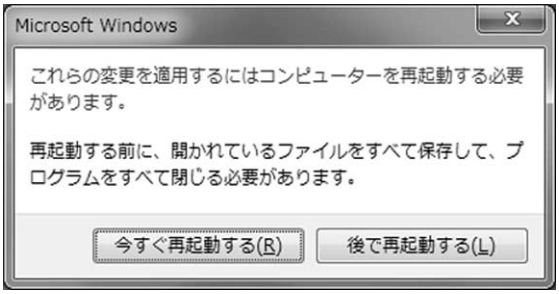
8. ドライバのインストールファイルの実行

［Install］ボタンをクリックします。



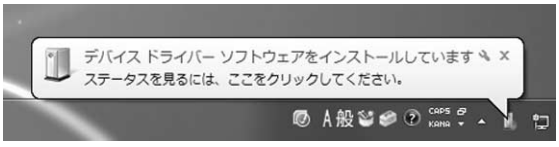
9. システムの再起動

開いているファイルを終了して、システムを再起動します。



10. ドライバのインストール

システムを再起動してFSJ－1を接続するとインストールが実行されます。



＊注意　Windows Vista、Windows 7の場合、ユーザーアカウント機能の警告が表示されます。
［続行］をクリックして、インストールしてください。

11. インストールの完了

3－2　アンインストール

1. アンインストール

［スタート］→［コントロールパネル］→［プログラムと機能(プログラムの追加と削除)］の表示から、インストールされているプログラムの一覧から下記プログラムをそれぞれアンインストールします。

【削除するプログラム】

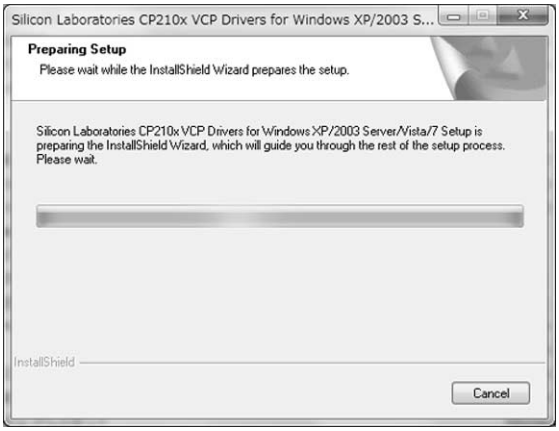
Silicon Laboratories CP210x USB to UART Bridge(Driver Removal)

Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for windows XP/2003 Server/Vista/7

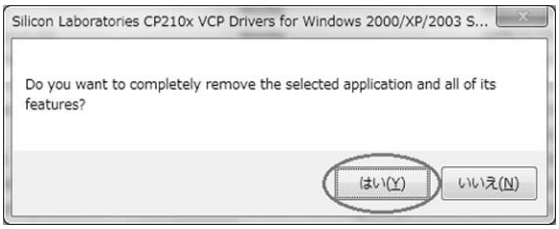
2. アンインストーラーの実行

『Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for windows XP/2003 Server/Vista/7』を選択してアンインストールを実行します。

3. アンインストールの開始

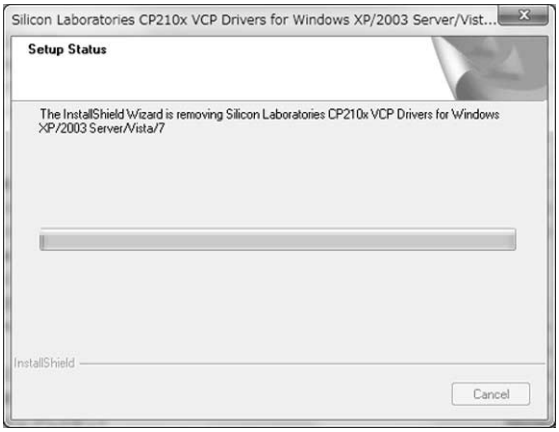


4. 確認メッセージ

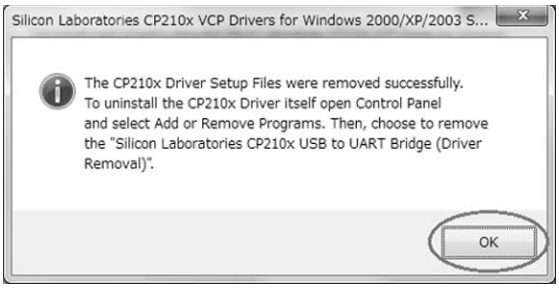


［はい］ボタンをクリックします。

5. アンインストールの実行

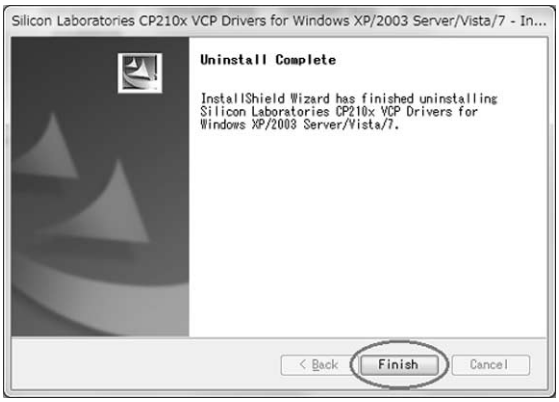


6. アンインストールの完了メッセージ



［OK］ボタンをクリックします。

7. アンインストール

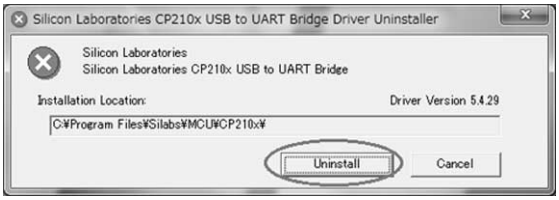

Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows XP/2003 Server/Vista/7 - In...
Uninstall Complete
InstallShield Wizard has finished uninstalling Silicon Laboratories CP210x VCP Drivers for Windows XP/2003 Server/Vista/7.
< Back
Finish
Cancel

［Finish］ボタンをクリックしてアンインストールを終了します。

8. アンインストールの実行

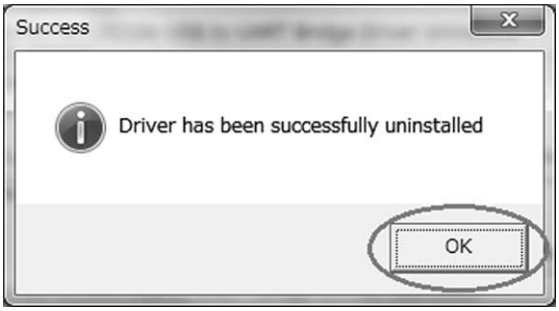
『Silicon Laboratories CP210x USB to UART Bridge(Driver Removal)』を選択してアンインストールを実行します。

9. アンインストールの開始画面



［Uninstall］ボタンをクリックします。

10. アンインストールの完了メッセージ



［OK］ボタンをクリックします。

3－3　FSJ－1との通信確認

1. FSJ-Winの起動

［スタート］→［すべてのプログラム(プログラム)］→［FUJI TECOM］→［FSJwin］、または
デスクトップの［FSJwin］ショートカットをダブルクリックするとFSJ－Winが起動します。

2. FSJ-1とパソコンをUSBケーブルで接続します。

3. 機器設定の読み込み

メインメニュー［機器設定］ボタンをクリックします。
FSJ－1との通信が正常に終了すると、機器設定画面が表示されます。

４．機　能

［ソフトウェア］

４－１　メインメニュー

［データ読込］　：FSJ－1に保存されている測定データの読み込み

【データ編集メニュー】

［エクセル出力］

［テキストファイル作成］

［保存設定］

［データ消去］

［機器設定］　：FSJ－1の機器設定を編集

【機器設定メニュー】

［機能設定の更新］

［日時の更新］

［ヘルプ］　：ヘルプの表示

［バージョン情報］：バージョン情報ウィンドウの表示

［終了］　：FSJ－Winの終了

4－2　データ読み込み

4－2－1　データ読み込み

メインメニューの［データ読込］ボタンをクリックすると、FSJ－1に保存されている測定データの読み込みを開始します。
正常に読み込みを終了すると、データがリスト表示され、データ編集メニューの操作が可能になります。

【リスト表示項目】
保存データ番号、記録日時、しきい値、判定データ、異常、レベル

4－2－2　データ編集メニュー

1. エクセル出力

- 『Microsoft Office Excel』を起動して、データをエクセルに出力します。
- 『保存設定』で設定された項目をエクセルに出力、表示します。
- 出力されたデータは、エクセルのシート上でしきい値を変更すると、『異常』と『レベル』が変化します。

2. テキストファイル作成

- 『保存設定』で設定された項目をテキスト形式でファイル保存します。

3. 保存設定

- ［エクセル出力］、［テキストファイル作成］で出力、保存するデータを設定します。
- １つ以上の項目を設定します。

【保存項目】

［No.］　　：データ保存番号
［記録日時］　：記録した日時
［機器バージョン］：記録した際のFSJ－1のバージョン
［しきい値］　：異常音判定の基準値
［判定データ］　：判定に使用したデータ
［異常］　　：異常音の判定結果
　　『有 / 無』
［レベル］　　：異常音のレベル
　　『－ / 小 / 中 / 大』
［測定データ］　：測定したデータ
　　（22データ）

4. データ消去

- FSJ－1の保存データを一括消去します。
  ※一度消去すると消去したデータを元に戻すことはできません。

4－3　機器設定

4－3－1　機器設定

メインメニューの［機器設定］ボタンをクリックすると、接続されたFSJ－1の設定情報を取得します。
設定情報を正常に取得すると、機器の設定内容が表示され、機器編集メニューの操作が可能になります。

【設定内容の表示】
記録開始待機時間、記録時間、しきい値、上書き防止機能、機器バージョンパソコンの日時

4－3－2　機器編集メニュー

1. 機能設定の更新

● FSJ－1の機能設定を変更します。

【機能】

［記録開始待機時間］：FSB－8Dの音聴スイッチを押してから、FSJ－1が記録を開始するまでの待機時間を設定します。
設定値 = 3～9秒

［記録時間］：測定データを記録する時間を設定します。
設定値 = 3～60秒

［しきい値］：異常音を判定する基準値を設定します。
設定値 = 0～1023

［上書き防止機能］：FSJ－1の保存データ数が2,000件（最大保存件数）となった場合の保存動作を設定します。
OFF = 保存可能（データ番号１から上書き保存）
ON　= 保存不可

2. 日時の更新

● 機器の日時を表示されている日時で更新します。
※画面にはパソコンの日時が表示されます。

4－4　ヘルプ

● FSJ－Winの簡易取説を表示します。

4－5　バージョン情報

●バージョン情報ウィンドウを表示して、FSJ－Winのソフトウェアバージョンを確認できます。

4－6　終了

●FSJ－Winを終了します。

５．データの初期化

［ソフトウェア］

データの記録を行う前など、必要に応じてFSJ－1内のデータを消去してください。

＊注意　FSJ－1には、2,000件のデータを記録することが可能です。
2,000件を超えるデータを保存しようとすると、先頭のデータから順番に上書きされます。出荷時はデータ保護のため、上書き防止機能が“ ON ”になっています。
詳しくはP50「7－1 設定項目」の上書き防止機能をご参照ください。

① P20「8.パソコンとの接続方法」を参照し、FSJ-1とパソコンをUSBケーブルで接続してください。
② パソコンにインストールされている『FSJ－1 対応　FSJWin』を起動してください。
③ メニューから『データ読込』を選択してください。

④ FSJ－1に保存されている測定データの読み込みを開始します。
正常に読み込みを終了すると、データがリスト表示され、データ編集メニューの操作が可能になります。

⑤ データ消去ボタンを押すと、データの初期化を実行するか、確認画面が表示されます。

⑥ データの初期化が終了すると、次の画面が表示されます。
［OK］ボタンをクリックして終了してください。

＊注意　データ消去の作業を行うとデータが完全に失われます。必ずエクセル出力、テキストファイル作成、データを保存してください。

６．日時設定

［ソフトウェア］

FSJ－1に内蔵されている時計の日時を、パソコンの日時に合わせます。

① P20「８.パソコンとの接続方法」を参照し、FSJ－1とパソコンを繋いでください。

② パソコンにインストールされている『FSJ－1対応　FSJWin』を起動してください。

③ メニューから『機器設定』を選択してください。

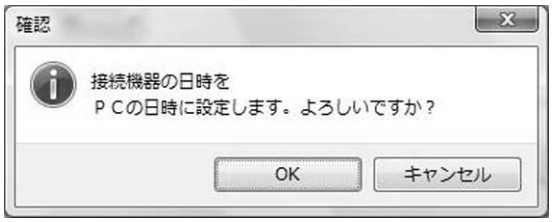
④ FSJ－1の情報が表示されます。

表示された**日時には、パソコンの現在日時**が表示されています。

◯の更新を選択してください。

＊注意　パソコン内の時刻が正しくないと、FSJ－1へもそのまま反映されます。パソコン内の時刻を確認し、正しく合わせてから行ってください。

⑤ 日時設定の確認画面が表示されます。



［OK］ボタンをクリックすると、パソコンの日時がFSJ－1に送信されます。
［キャンセル］ボタンをクリックすると、FSJ－1の日時を設定せずに終了します。

⑥ 日時の設定が終了すると、次の画面が表示されます。
［OK］ボタンをクリックして終了してください。

７．設定変更

［ソフトウェア］

７－１　設定項目

記録開始待機時間：

FSB－8Dの音聴スイッチを押してから、データ取得を開始するまでの待ち時間です。
設定範囲：３～９秒（初期値＝３秒）

最小記録時間：

FSB－8Dでデータを収集する際の測定時間です。
設定された時間より長い間、データの取得を行うことも可能で、より精度の高いデータを取得することができます。(ハンテイ表示中でFSB－8Dの音聴スイッチを押し続けてください。)
設定範囲：3～60秒（初期値＝３秒）

しきい値：

取得したデータから、異常音の疑いあり『💧』、なし『OK』の判定を行う際の値になります。
設定範囲：0～1023(初期値＝250)

OK　　：249以下
💧　　：250（可変可能 0～1023）
💧💧　：700以上
💧💧💧：1023

＊注意　FSJ－1で用いられる値と、FSB－8Dに表示される値は同じにはなりません。

上書き防止機能：

FSJ－1では、2,000件分のデータが保存できます。
本機能をOFFにすると、2,000件のデータを取得した後、先頭のNo.00001に戻り、新しいデータを順次上書き保存していきます。
本機能をONにすると、2,000件データを保存した時点で新たなデータ保存ができなくなり、FSJ－1に保存されているデータを保護します。
Windowsソフトでデータをパソコンに読み込んだ後、FSJ－1の保存データを消去してから、音聴作業・データ取得作業に用いてください。

7－2　設定変更方法

動作設定の変更を行います。

① P20「8.パソコンとの接続方法」を参照し、FSJ－1とパソコンを繋いでください。

② パソコンにインストールされている『FSJ－1対応　FSJWin』を起動してください。

③ メニューから『機器設定』を選択してください。

④ FSJ－1の情報が表示されます。

動作設定に関する４項目が表示されます。必要に応じて数値の変更を行ってください。

⑤ 各項目の内容を変更した後、◯ の更新を選択してください。

表示されている値がFSJ－1に送信されます。

⑥ 設定値の変更が終了すると、次の画面が表示されます。
［OK］ボタンをクリックして終了してください。

８．パソコンへのデータ転送

［ソフトウェア］

FSJ－1に保存されているデータをパソコンに転送して、処理を行うことができます。

① P20「８.パソコンとの接続方法」を参照し、FSJ－1とパソコンを繋いでください。

② パソコンにインストールされている『FSJ－1対応　FSJWin』を起動してください。

③ メニューから『データ読込』を選択してください。

④ FSJ－1に保存されている測定データの読み込みを開始します。
正常に読み込みを終了すると、データがリスト表示され、データ編集メニューの操作が可能になります。

⑤ 保存設定ボタンを押して、保存する項目を選択します。

⑥ リストの中から保存するデータを選択してください。
（※何も選択せずに⑦を行うと全てのデータを保存します。）

⑦ エクセルに出力する場合には、「エクセル出力」を選択してください。
テキスト形式で保存したい場合には、「テキストファイル作成」を選択してください。

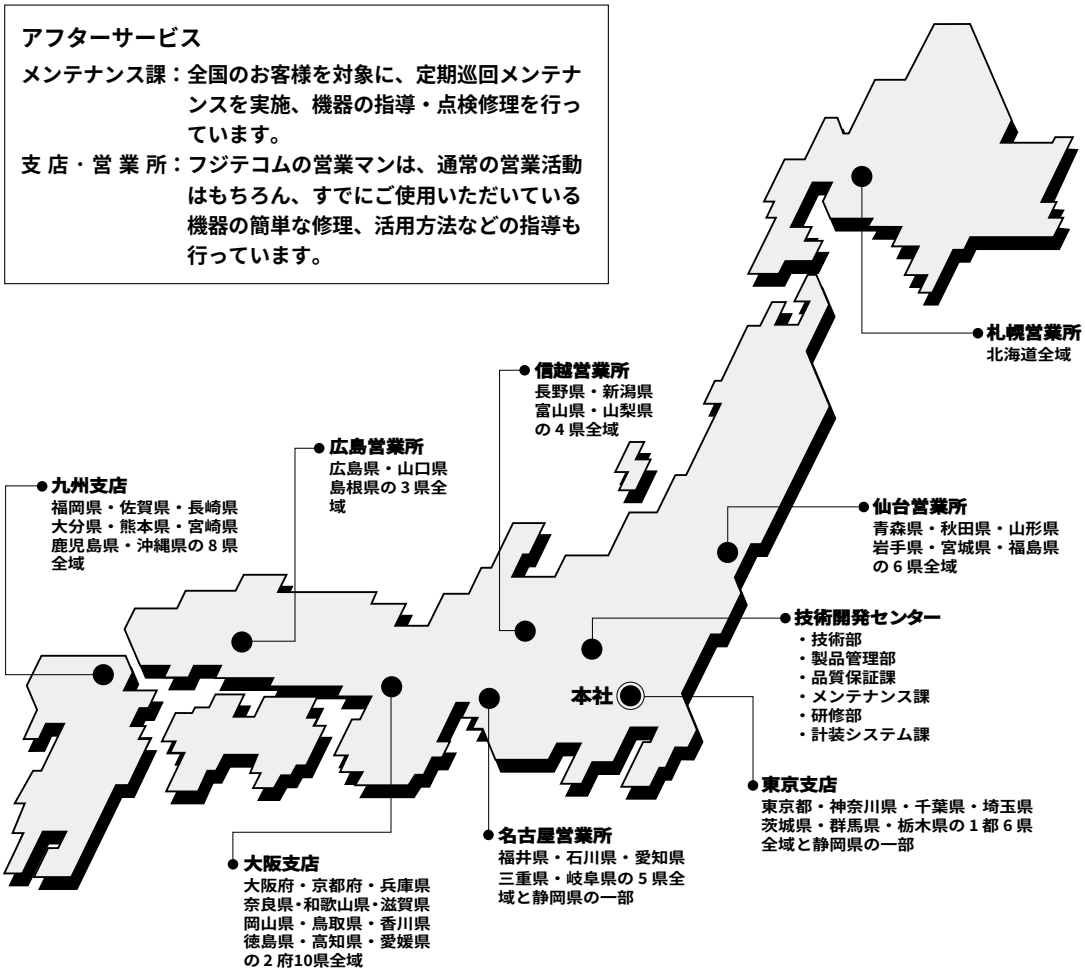
9．フジ全国サービスネットワーク

弊社では、機器をいつでも最良の状態でご使用いただくため、巡回メンテナンスを実施しています。
フジテコムの営業担当員は通常の営業活動に加え、すでにご使用いただいている機器の簡単な保守点検などの指導も行っています。
巡回メンテナンスのお申込み窓口は、最寄りのフジテコム各支店・営業所までお問い合わせください。

アフターサービス

メンテナンス課：全国のお客様を対象に、定期巡回メンテナンスを実施、機器の指導・点検修理を行っています。

支 店・営 業 所：フジテコムの営業マンは、通常の営業活動はもちろん、すでにご使用いただいている機器の簡単な修理、活用方法などの指導も行っています。



技術開発トレーニングセンター

弊社では、機器を効率よく安全にご使用いただくため全国のお客様を対象に、技術開発トレーニングセンター内のテストコースにて、機器の取扱いのご指導をさせていただいています。お気軽にご利用ください。
トレーニングセンターのお申込み窓口は、最寄りのフジテコム各支店・営業所までお問い合わせください。

ISO 9001認証取得(QM4215)

管路システムのサポートメーカー

フジテコム株式会社

本　　社　〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2丁目20番地 翔和秋葉原ビル
TEL〈03〉3862-3196／FAX〈03〉3866-1979　ホームページ http://www.fujitecom.co.jp/

札　　幌　〒003-0028 札幌市白石区平和通11丁目南3−12　TEL〈011〉864−9511／FAX〈011〉864−9507
仙　　台　〒980-0014 仙台市青葉区本町1−12−12(GMビルディング)　TEL〈022〉222−2011／FAX〈022〉261−2497
東　　京　〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2−20(翔和秋葉原ビル)　TEL〈03〉3865−2960／FAX〈03〉3865−2964
信　　越　〒380-0805 長野市柳町2056（柳町ビル）　TEL〈026〉232−3521／FAX〈026〉232−2197
名古屋　〒461-0004 名古屋市東区葵3−23−7(千種ファーストビルN)　TEL〈052〉933−4891／FAX〈052〉933−4894
大　　阪　〒530-0047 大阪市北区西天満3−13−18(島根ビル)　TEL〈06〉6362−6755／FAX〈06〉6362−6759
広　　島　〒732-0052 広島市東区光町2−12−10(日宝光町ビル)　TEL〈082〉261−0939／FAX〈082〉261−0948
九　　州　〒812-0007 福岡市博多区東比恵3−4−2(ZS福岡ビル)　TEL〈092〉474−3225／FAX〈092〉474−3894
計装システム課　〒352-0011 埼玉県新座市野火止8−6−16　TEL〈048〉482−8777／FAX〈048〉477−4724
技術開発・トレーニングセンター　〒352-0011 埼玉県新座市野火止8−6−16　TEL〈048〉479−0581／FAX〈048〉479−0584
テレホン技術サービス　TEL〈048〉479−0583